

大隅の「作業班」が、地震発生直後の熊本において、道路啓開活動等を行いました

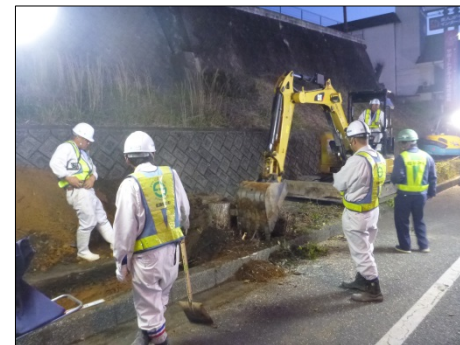
平成28年4月16日（土）の「平成28年熊本地震」本震発生直後から、道路啓開活動等を行うため、大隅の作業班が現地に入りました。

地震により発生した、路面の割れの補修や段差解消、民地からの擁壁崩落対策として仮設防護柵の設置などを、熊本市、南阿蘇村の国道57号や、益城町の国道443号で行いました。

啓開活動により、災害対応などの緊急車両や作業車両、物資の輸送車両などの走行が円滑になり、被災地の早期復旧に繋がると期待しています。



←
大隅から向
かった作業班
の機械と車輛、
及び南阿蘇村
（国道57号）
での段差解消
作業の状況



→
益城町（国道
443号）での
路面補修（路
盤の整正）の
作業の状況



↑ 仮設防護柵の設置（熊本市）

道路啓開活動については、**佐藤建設(株)**（災害協定業者）のご協力のもと行いました。引き続き関係各社と連携・協力し、**大隅河川国道事務所も復旧に向けて全力で取り組んで参ります。**